

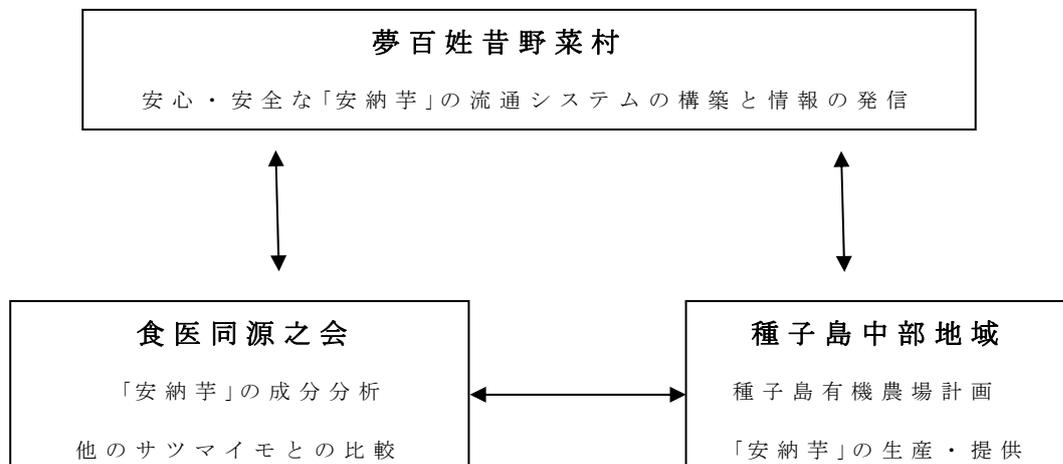
日本の伝統的な食文化の継承活動（実践例1）

種子島における安納芋を例にした産学民ネットワークシステムの構築

1 自然農法グループ 夢百姓昔野菜村、2 食医同源之会

[目的] 種子島の「安納芋」を中心とした循環型・環境保全型の農業を実践し、「安心・安全な付加価値の高い安納芋」を生産・提供するといった「生産者から消費者までの農商工連携システムづくり」を支援することにより、種子島の伝統的な食文化の良さを認識させ、その継承をはかり、ひいては日本の自給率を高めることを目的とする。

[活動システム] 産学民ネットワーク



[具体的実践]

1. 種子島の「安納芋」の生産・販売

- ・ 種子島の在来品種である「安納芋」を自然な農法で栽培し提供する。
- ・ 在来品種の継承と環境保全型農業の実践と普及

2. 「安納芋」の成分分析と他のサツマイモとの比較

- ・ 在来品種および環境保全型農産物等の食品栄養学的研究

3. 鹿児島県熊毛郡中種子町（種子島中部地区）の町おこし活動

- ・ 環境保全型「安納芋」の生産支援と循環型システムづくり支援

4. 「安納芋」の加工品の製造・販売——「干し芋」「ケーキ」「キャラメル」